

すわみつえ通信

No.176 2021年6月7日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諒訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

75歳以上の方のワクチン接種が5月31日より市内医療機関38箇所で始まりました。「受けたよ」という報告も聞かれています。「腕が上がりにくい。重い感じ」と副反応はあるものの、「スマートで丁寧な対応だった」とそうです。



6月7日からは65歳から74歳までの18,500人の対象者に予約受付のハガキを発送することになっています。市は早期の接種完了を目指して、医療機関の協力を得ながら、予約数を随時拡大していくとしています。

ワクチン接種始まりました

パソコンもスマホも苦手！
という方、支援があります！

6月7日(月)～6月18日(金)
●午前9時～11時30分
●午後1時～4時30分

各公民館・生涯学習センターで職員が予約支援を致します。
接種券をご持参のうえ起こし願います。(施設休館日を除く)
★すわみつえ市議も予約支援を致しておりますので、お気軽にお電話ください。

65歳以上の方には封書で4月23日以降に郵送されている接種券ですが、「手元にない」と相談がありました。市担当部署に連絡をして再発行の手続きをしてもらいました。もし、同様な方がいらっしゃいましたら、連絡ください。

新型コロナウイルスの影響で減収となり、生理用品が買えない「生理の貧困」が社会問題となっています。イギリスでは女性たちが声を上げて「無償配布」や「課税をしない」ことが実現しています。日本でも各地で「無償配布」の試みがされています。上尾市・桶川市・伊奈町・北本市では庁舎内のカウンターで無償配布をしていました。

生理用品を学校の女子トイレに

涼しげなホタルブクロ

今年も年金者組合の方がホタルブクロを届けてくださいました。涼しげな色合いが雨に似合つ。季節。



静岡県富士市では、市役所内に置かれた「さくらカード」を、窓口に持つていけば生理用品と交換してもらえます。
(写真) 窓口で女性職員が対応。

このようにと届けました。活用状況を電話で確認したところ、「保健室で必要に応じて手渡しているとのことでありました。願いは「トイレットペーパーが常備されているように生理用品も常備される」とです。

俳句コーナー
ワクチンの話ばかりで五月尽

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。
(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

高齢者医療費2倍化法成立

コロナ禍の下
生活支援こそ

倉林明子議員が反対討論



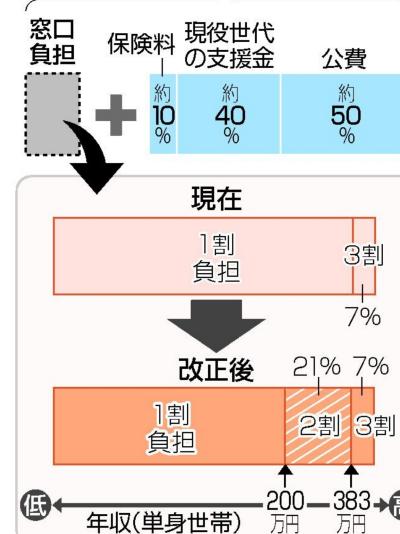
(写真) 反対討論する倉林明子議員=4日、参院本会議

討論で日本共産党の倉林明子議員は、「必要な医療が受けられなくなることを前提に負担増を強いるのは、高齢者の命を削り、尊厳を脅かすものであり断じて許されない」と強調。撤回を強く求めました。

75歳以上の医療費窓口負担（現在原則1割）に2割負担を導入する「高齢者医療費2倍化法」が6月4日の参院本会議で自民、公明、維新、国民民主各党などの賛成多数で可決、成立しました。日本共産党、立憲民主党などは、反対しました。

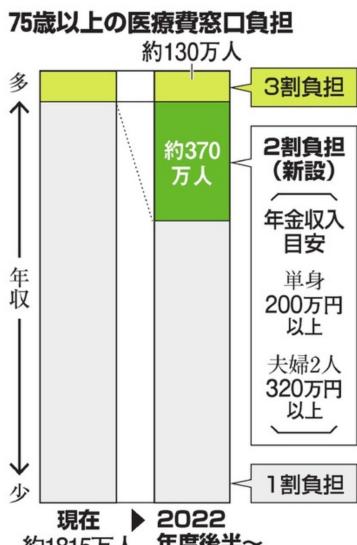
75歳以上の多くは現在、かかった医療費の1割を負担しています。残りの部分の半分は税金（公費）、4割は現役世代が加入する健康保険組合などの支援金、1割が高齢者の納める保険料で賄われています。

後期高齢者医療制度の仕組み 医療費全体



時事通信社【図解】「後期高齢者医療制度の仕組み」から=5日付

引き上げ対象370万人



朝日新聞【図】=4日付

エゾフクロウのひなが成長 北海道石狩地方の森林で

北海道石狩地方の森林で、エゾフクロウのひながすくすくと成長している。つぶらな瞳にふわふわの白い産毛を身にまとった姿は、まるでぬいぐるみのよう。

地元の住人によると、ひなは全部で3羽おり、木の幹の巣穴から5月下旬に出てきたばかり。うまく飛ぶことはできず、枝の上で身を寄せ合ってじっとしていることが多いといふ。

エゾフクロウは成鳥で体長約50センチ。北海道全域に生息する。ひなは約2か月後に独り立ちしていく。

(共同通信社 6月3日付)



アルパカも「衣替え」 長野・茶臼山動物園

長野市の茶臼山動物園で6月1日、雄のアルパカ「ダイヤ」の毛を刈る作業があった=写真。本格的な夏の到来を前に「衣替え」した。

アルパカはペルーなど高冷地の原産で、毛を刈らないと熱中症になってしまうという。職員らはダイヤを落ち着かせようと布で目を隠したが、立ち上がりがろうとしたり、大きな声で鳴いたり。2人がかりで体を押さえ、2時間余りかけてバリカンとはさみで毛を刈り終えた。ダイヤは約3キロの毛を刈ってすっきりとした装いに。(信濃毎日新聞 6月2日付)

